キャンプ人口過去10年で最低の705万人

「オートキャンプ白書2009」（日本オート・キャンプ協会）から

キャンセル料徴収は約半数

日本オート・キャンプ協会（長谷川純会長）はこのほど、08年のオートキャンプの現状を分析した「オートキャンプ白書2009」を発行（**既報**）した。白書によるとキャンプ参加人口は705万人となり過去10年で最低だったが、キャンプ回数、泊数などは増加した。ここではその一部を紹介する。

オートキャンプ人口を年齢別にみると30～40代のファミリー層が82・3％と最多。一方、50代の参加人口が8・0％となり、06年の6・9％から徐々に増えた。60代でも06年に1・8％だったが2・8％になるなど子育てを終えた世代の増加が注目される。

世帯年収は500万～800万円台が全体の5割を占めている。内訳をみると500万円台が21・0％、600万円台が12・0％、700万円台が12・4％、800万円台が9・0％である。また1千万円以上の世帯は10・3％となっている。最も世帯数の多い階級は500万円台。

キャンパーの職業についてみると、最も多いのは会社員で59・3％、公務員9・1％、会社役員8・0％、自営業7・0％となっている。

キャンプ回数は平均で4・2回。前年比0・2㌍上昇した。特に10月は、8月にピークを迎えたガソリン価格が秋以降急落し、同29・9㌍増の69・4％と大幅な伸びを示した。1泊2日あたりのキャンプ費用は平均2万1650円で07年に比べ500円増。

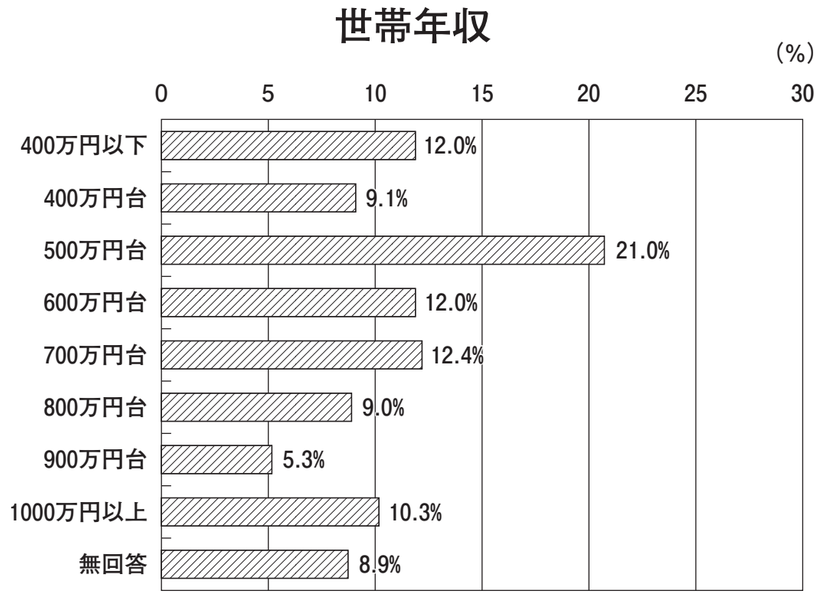
キャンプ場のキャンセル料についても今回初めて調査を実施。キャンセル料があると回答したのは49・1％で半数がキャンセル料を徴収していた。

また、キャンピングカー所有者のキャンプ回数は11・5回と全体平均の約3倍。延べ泊数では平均6・5泊に対して19・8泊と活発な活動実態が明らかになった。年収をみると全体で最も多かった値は500万円代だったのに対し、キャンピングカー所有者の年収は1千万円だった。

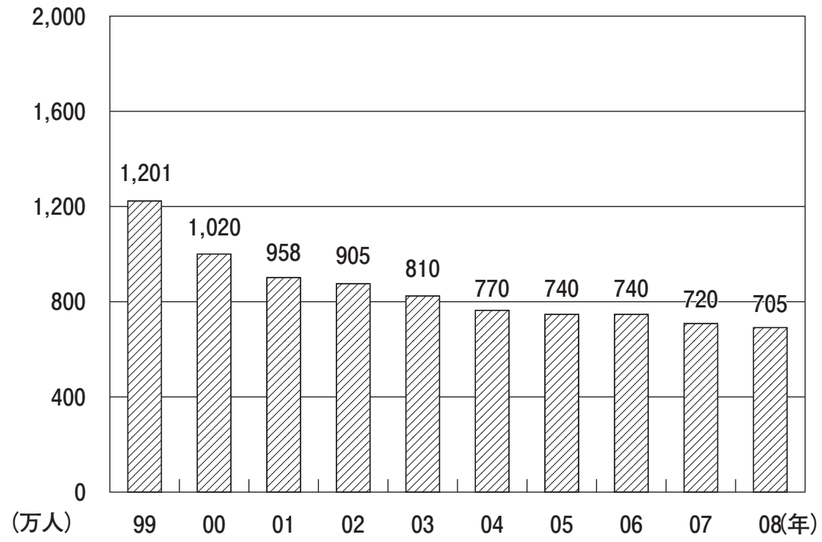
軽自動車をベースとしたキャンピングカーは08年で600台。06年の302台から2倍に。

調査データ

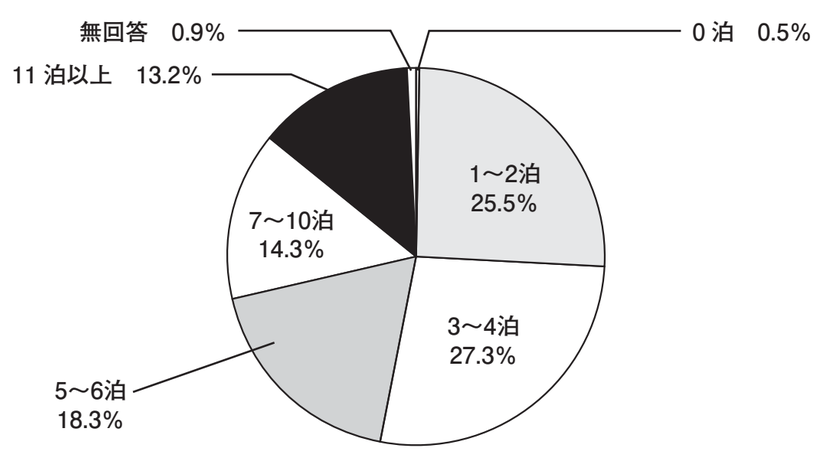
世帯年収



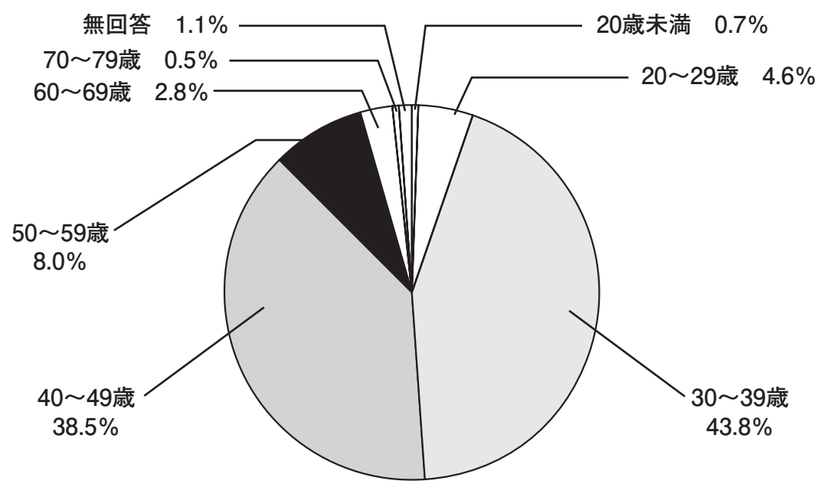
オートキャンプ参加人口の推移（推定）



延べ泊数

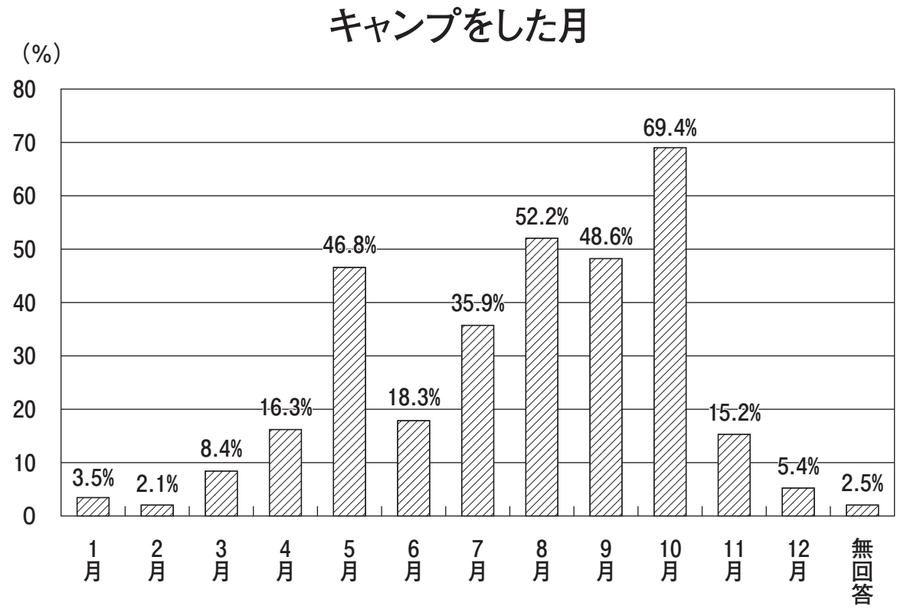


キャンパーの年齢

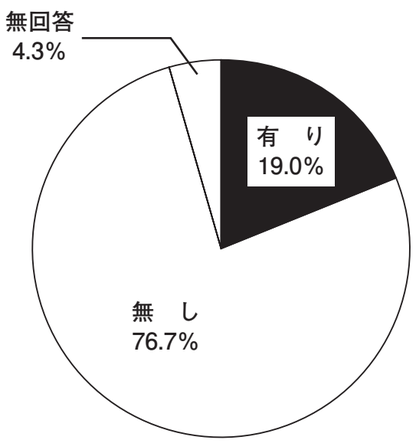


実施回数、泊数は増加／平均費用は2万1650円

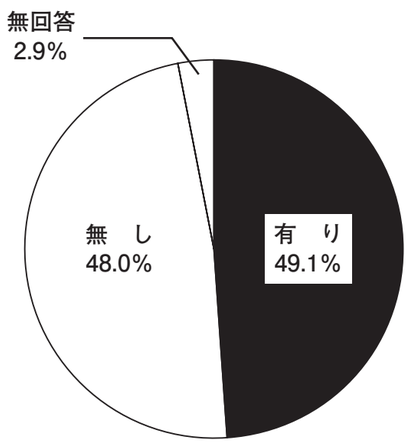
キャンプをした月



予約金



キャンセル料



キャンピングカー登録台数の推移

年	自走式			トレーラー	合計	前年比
	普通車	小型車	計	普通・小型		増加台数
1990	19,145	4,090	23,235	647	23,882	4,618
1991	25,371	3,982	29,353	743	30,096	6,214
1992	33,228	3,894	37,122	926	38,048	7,952
1993	43,078	3,876	46,954	1,140	48,094	10,046
1994	59,501	4,148	63,649	1,396	65,045	16,951
1995	82,191	4,877	87,068	1,661	88,729	23,684
1996	130,084	8,636	138,720	1,971	140,691	51,962
1997	176,049	11,060	187,109	2,573	189,682	48,991
1998	217,061	14,306	231,367	3,036	234,403	44,721
1999	265,984	20,340	286,324	3,469	289,793	55,390
2000	306,596	25,339	331,935	3,816	335,751	45,958
2001	325,694	25,702	351,396	4,101	355,497	19,746
2002	322,791	22,657	345,448	4,419	349,867	−5,630
2003	302,438	18,514	320,952	4,710	325,662	−24,205
2004	269,960	14,375	284,335	5,004	289,339	−36,323
2005	240,901	11,422	252,323	5,263	257,586	−31,753
2006	213,482	9,145	222,627	5,532	228,159	−29,427
2007	190,140	7,546	197,686	5,784	203,470	−24,689
2008	169,493	6,493	175,986	5,987	181,973	−21,497

（各年とも3月末現在）